



## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023 年 6 月 7 日

静岡市長 難波 喬司 様

提出者

住 所 静岡県静岡市清水区庵原町34番地の1

氏 名 静岡ミツウロコフーズ 株式会社

代表取締役社長 大森 基靖

電話番号 054 - 367 - 3216 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物  
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	静岡ミツウロコフーズ株式会社 庵原工場
事業場の所在地	静岡県静岡市清水区庵原町34番地1
事業の種類	10:飲料・たばこ・飼料製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

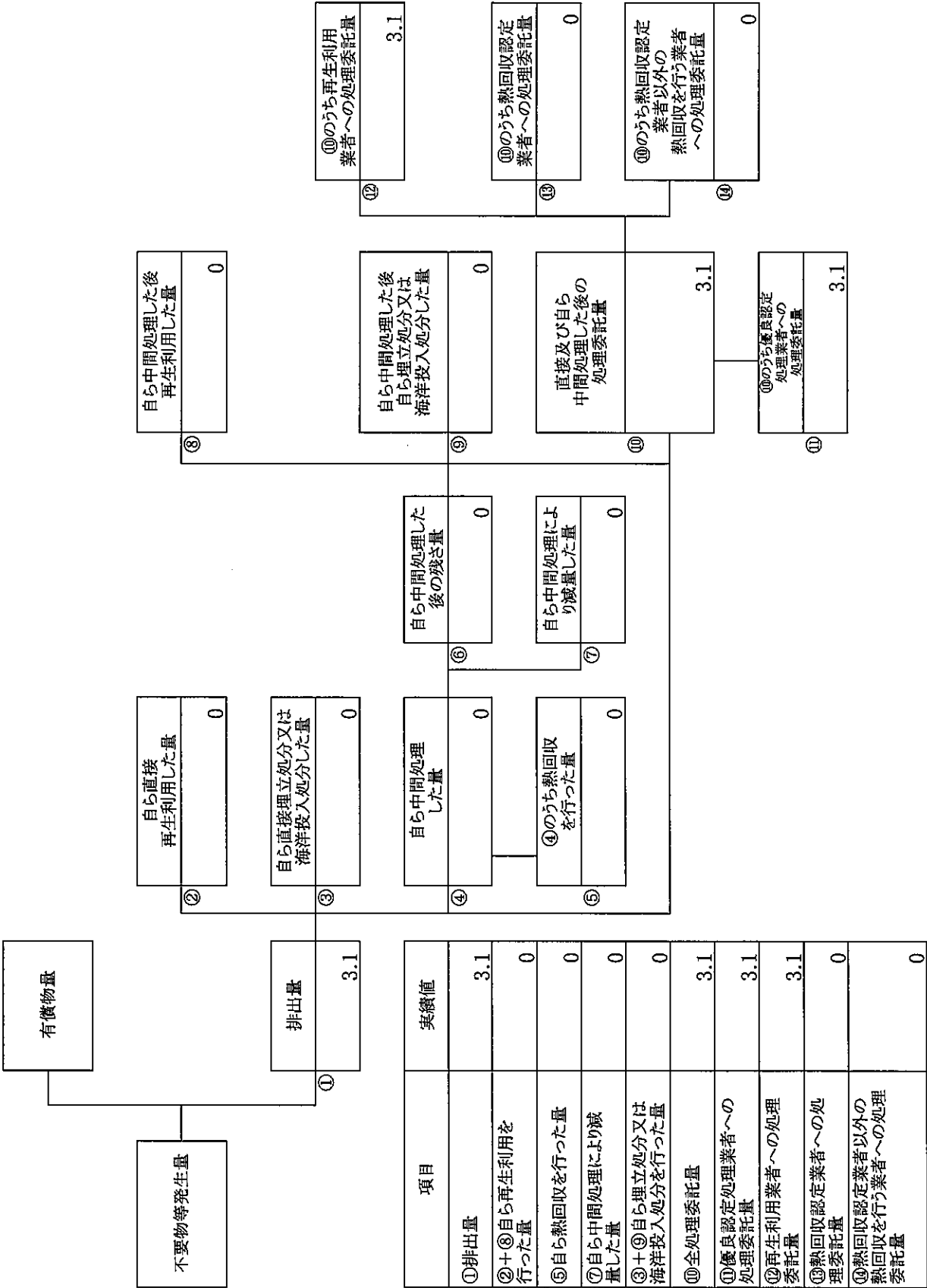
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1405.533t	全処理委託量	1095.533t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	310t	優良認定処理業者への処理委託量	36.59t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1095.533t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 第4番)



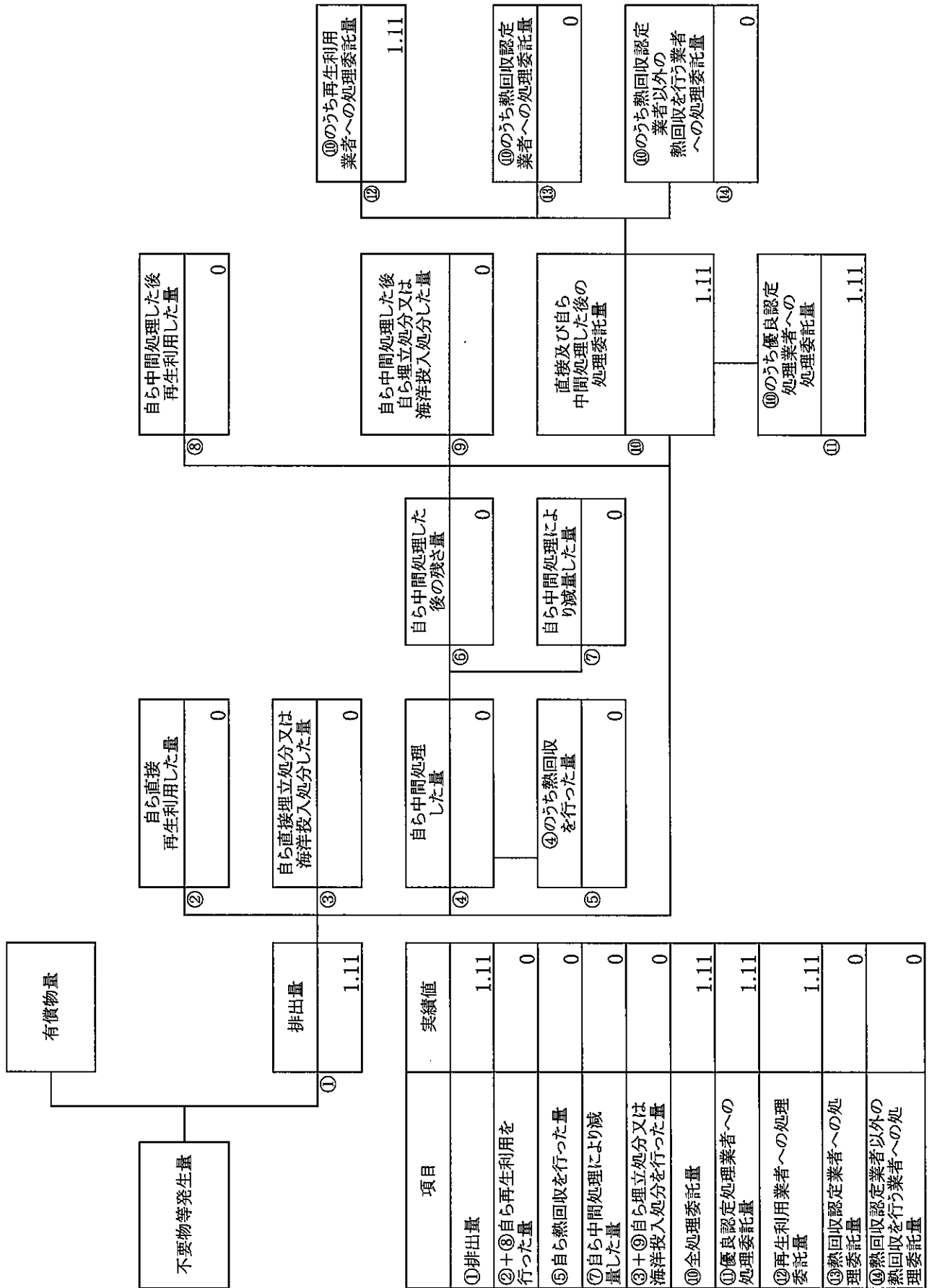
(産業廃棄物の種類:①有機性汚泥 A工程)

計画の実施状況



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:② 廃酸 B工程)



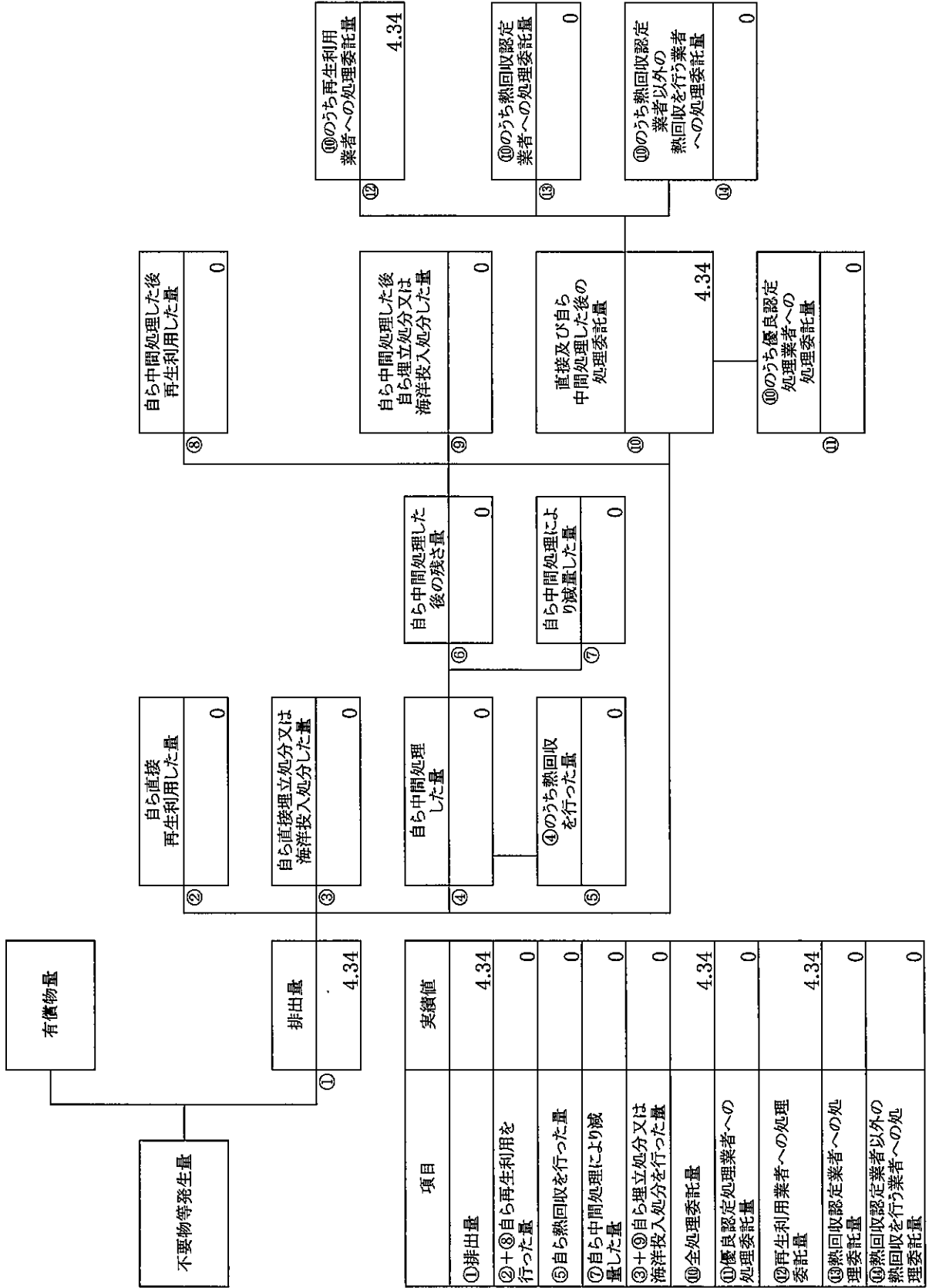
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③ 廃プラスチック C工程)

有償物量		⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量		⑫ ⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
不要物等発生量		⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
排出量		⑩ 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
① 43.703		⑪ ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		0	
② 0		⑤ ④のうち熱回収 を行った量		0	
③ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
④ 0		⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量		0	
⑤ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑥ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑦ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑧ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑨ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑩ 43.703		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑪ 29.2		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑫ 43.703		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑬ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑭ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑮ 43.703		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑯ 29.2		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑰ 43.703		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑱ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	
⑲ 0		⑦ 自ら中間処理によ り減量した量		0	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④ 木屑 D工程)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤ 動植物性残渣 B工程)

有償物量		自ら中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量		
不要物等発生量	①	排出量 1350.1	②	310	③	0
			③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨のうち埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
			④	自ら中間処理 した量	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0
			⑤	④のうち熱回収 を行った量	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0
実績値		⑩		⑪		
①排出量	1350.1	⑥	0	⑦	0	
②＋⑧自ら再生利用を 行った量	310	④	0	⑤	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑥	0	⑦	0	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0	⑩		0		
③＋⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑪		0		
⑩全処理委託量	1040.1	⑩		0		
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0	⑪		0		
⑫再生利用業者への処理 委託量	1040.1	⑫		0		
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0	⑬		0		
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0	⑭		0		

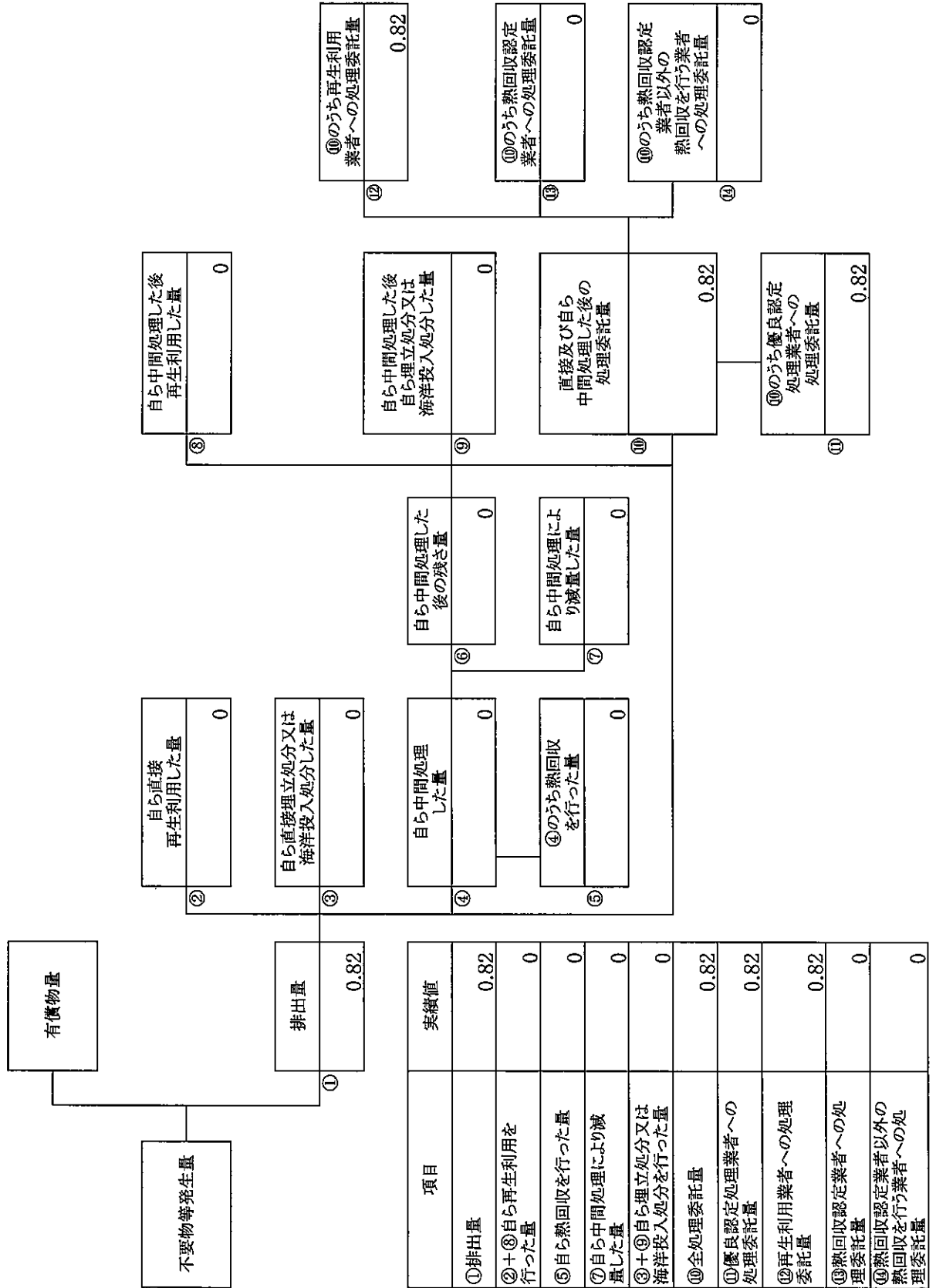
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥ 金属くず D工程)

有償物量		自らの中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
不要物等発生量		⑧		⑫	
排出量		⑨		⑬	
①		⑩		⑭	
2.21		2.21		0	
②		⑪		⑮	
0		⑫		⑯	
③		⑬		⑰	
0		⑭		⑱	
④		⑮		⑲	
0		⑯		⑳	
⑤		⑰		㉑	
0		⑱		㉒	
⑥		㉓		㉔	
0		㉔		㉕	
⑦		㉕		㉖	
0		㉖		㉗	
⑧		㉗		㉘	
0		㉘		㉙	
⑨		㉙		㉚	
0		㉚		㉛	
⑩		㉛		㉜	
2.21		㉜		㉝	
2.21		㉝		㉞	
2.21		㉞		㉟	
0		㉟		㊱	
0		㊱		㊲	
0		㊲		㊳	
0		㊳		㊴	
0		㊴		㊵	
0		㊵		㊶	
0		㊶		㊷	
0		㊷		㊸	
0		㊸		㊹	
0		㊹		㊺	
0		㊺		㊻	
0		㊻		㊼	
0		㊼		㊽	
0		㊽		㊾	
0		㊾		㊿	
0		㊿		㉑	
0		㉑		㉒	
0		㉒		㉓	
0		㉓		㉔	
0		㉔		㉕	
0		㉕		㉖	
0		㉖		㉗	
0		㉗		㉘	
0		㉘		㉙	
0		㉙		㉚	
0		㉚		㉛	
0		㉛		㉜	
0		㉜		㉝	
0		㉝		㉞	
0		㉞		㉟	
0		㉟		㊱	
0		㊱		㊲	
0		㊲		㊳	
0		㊳		㊴	
0		㊴		㊵	
0		㊵		㊶	
0		㊶		㊷	
0		㊷		㊸	
0		㊸		㊹	
0		㊹		㊺	
0		㊺		㊻	
0		㊻		㊼	
0		㊼		㊽	
0		㊽		㊾	
0		㊾		㊿	
0		㊿		㉑	
0		㉑		㉒	
0		㉒		㉓	
0		㉓		㉔	
0		㉔		㉕	
0		㉕		㉖	
0		㉖		㉗	
0		㉗		㉘	
0		㉘		㉙	
0		㉙		㉚	
0		㉚		㉛	
0		㉛		㉜	
0		㉜		㉝	
0		㉝		㉞	
0		㉞		㉟	
0		㉟		㊱	
0		㊱		㊲	
0		㊲		㊳	
0		㊳		㊴	
0		㊴		㊵	
0		㊵		㊶	
0		㊶		㊷	
0		㊷		㊸	
0		㊸		㊹	
0		㊹		㊺	
0		㊺		㊻	
0		㊻		㊼	
0		㊼		㊽	
0		㊽		㊾	
0		㊾		㊿	
0		㊿		㉑	
0		㉑		㉒	
0		㉒		㉓	
0		㉓		㉔	
0		㉔		㉕	
0		㉕		㉖	
0		㉖		㉗	
0		㉗		㉘	
0		㉘		㉙	
0		㉙		㉚	
0		㉚		㉛	
0		㉛		㉜	
0		㉜		㉝	
0		㉝		㉞	
0		㉞		㉟	
0		㉟		㊱	
0		㊱		㊲	
0		㊲		㊳	
0		㊳		㊴	
0		㊴		㊵	
0		㊵		㊶	
0		㊶		㊷	
0		㊷		㊸	
0		㊸		㊹	
0		㊹		㊺	
0		㊺		㊻	
0		㊻		㊼	
0		㊼		㊽	
0		㊽		㊾	
0		㊾		㊿	
0		㊿		㉑	
0		㉑		㉒	
0		㉒		㉓	
0		㉓		㉔	
0		㉔		㉕	
0		㉕		㉖	
0		㉖		㉗	
0		㉗		㉘	
0		㉘		㉙	
0		㉙		㉚	
0		㉚		㉛	
0		㉛		㉜	
0		㉜		㉝	
0		㉝		㉞	
0		㉞		㉟	
0		㉟		㊱	
0		㊱		㊲	
0		㊲		㊳	
0		㊳		㊴	

計画の実施状況

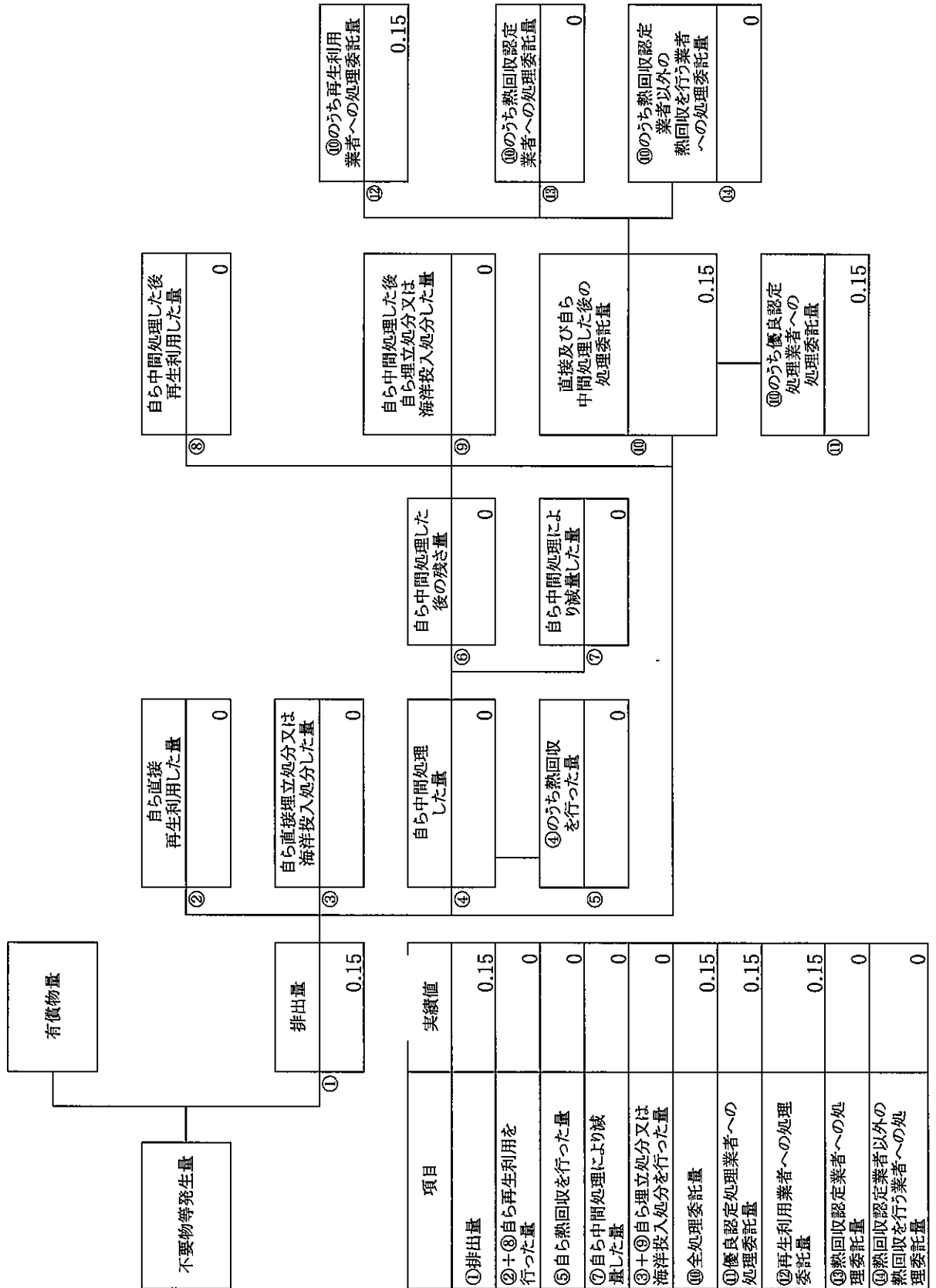
(産業廃棄物の種類: ⑦ ガラス・コンクリート・陶磁器くず G工程)





## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧ 水銀使用製品: 蛍光灯他 H工程)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

紙別書報告狀況實施圖處理物業廢棄產業

[illegible][illegible]

(注1) ン未満は既商として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下四捨五入は可。  
(注2) 上記の産業資源物の価格以外の排出実績があつた場合は、必要に応じ、間接追加入力とともに、新面も追加して下さい。

紙別報告書實施狀況報告書別紙

[illegible][illegible]

(注1) 上記の産業調査所の期間以外の休出実数があった場合は、必要に応じて、調査追加入力するとともに、新2度も追加してください。

